

Global Exhibition Team (GET) による日本文化発信プロジェクト【東京国立博物館】

目的・目標

本事業は、日本の優れた伝統文化を人類共通の財産として世界の中で位置づけ、異文化交流に基づく相互理解の促進と、発展的な国際関係の構築を目的とする。東博が事業推進と人材育成の場としての拠点的な役割を担いながら、アジア諸国やグローバルサウス、BRICSなど今後の我が国の経済成長に不可欠な地域を中心に、日本の美術工芸を広く紹介する展示活動を推進し、特命担当【GET】による人材高度化と世界で活躍する専門家の育成、さらには日本の伝統文化の国際的なプレゼンスの向上ならびに当該地域における日本文化のファン獲得・拡張を目標とする。

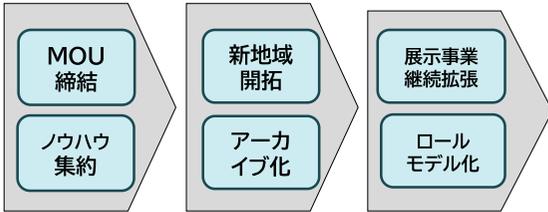
概要

館内において特命担当【Global Exhibition Team (GET)】を立ち上げ、世界で活躍する若手キュレーターや若手デザイナー等の人材育成を行いながら、海外ミュージアムとの密接なネットワークを構築するとともに、GETが日本文化の研究・発信の国際的拠点としての地位を確立し、世界規模での日本文化の魅力発信を行う。育成対象者には国外における日本文化のファン獲得や現地専門家の育成を意識させるとともに、【展示メソッド開発事業】【ジョイントリサーチ事業】【パートナーシップ事業】【デジタルコンテンツ事業】の4事業による拠点形成を進め、日本の美術工芸を対象とした国内外での展覧会を通じて目標の達成を図る。

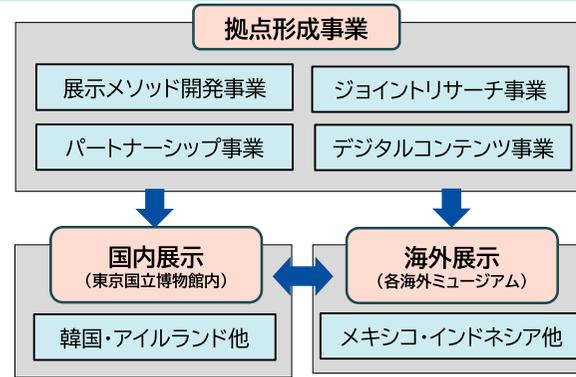
3年目までの取組

第I期では、これまで日本美術展の開催機会がなかったメキシコ、インドネシアを候補地として、東博所蔵の文化財を広く紹介する展覧会の開催を通じ、若手メンバーの知識・経験を高めつつ、日本美術ファン獲得や現地専門家育成の方策を探る。また、若手メンバーを中心に、東博内で海外館の所蔵作品を日本人に分かりやすく紹介する展覧会を開催することで、各国館との双方向の関係深化を図り、GETの国際的な知名度と評価を高める。あわせて、これまで関係構築が十分でなかった世界各地のミュージアムとの共同学術調査や交流協定(MOU)を締結し、今後の事業展開に向けた足場固めに取り組む。

5年目までの取組



GET若手メンバーを中心に、第I期に築いた関係性やノウハウを活かしながら、MOU締結館から今後の日本との関係強化が見込まれる地域を戦略的に選定し、日本の美術工芸の展覧会を通して、日本文化ファンの獲得や現地専門家育成を目指した事業を継続・拡張していく。国内外開催の展覧会は適宜デジタルコンテンツ化して広く情報発信し、会期や会場に縛られないファン層の拡充にも取り組む。GET育成対象者は、国内外のミュージアムで日本文化の海外発信や国際交流による地域活性化に資する人材として活躍できるよう経験を積ませる。



デジタル・アーカイブ化

- Colbaseへのデータ登録、展示会場の3D計測

国内展示【計2回以上】

- 韓国文化財展@東洋館(2025年)
- アイルランド所蔵「絵巻」展@本館(2026年) ほか

海外展示【計4回以上】

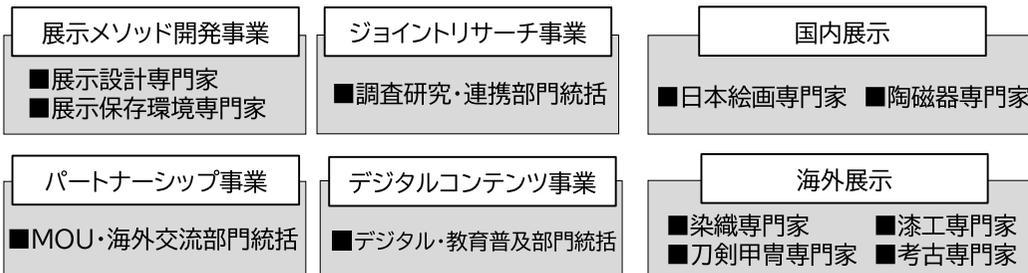
- 日本美術工芸展@メキシコ国立人類学博物館(2025年)
- 日本染織展@インドネシア国立博物館(2025年) ほか

成果目標(見込)

目標値

文化施設の展示活動に対する専門誌・専門家・批評家等による評価数(高評価)	各会期中 10件
デジタル作品(デジタル・アーカイブ化含む)の発信数	登録数 100件
海外における東京国立博物館所蔵作品の公開数	年間 100件
海外展の満足度指数	満足度 80%
若手育成対象者による海外ミュージアムとの交流回数	年間 30件

中核となるクリエイターやアドバイザー



育成対象者：13人

【職種・人数】

- キュレーター (7名)
- デザイナー (2名)
- エドゥケーター (1名)
- デジタルアーキビスト (1名)
- サイエンティスト (1名)
- コーディネーター (1名)

館内外におけるこれまでの活動と実績を評価し、今後のミュージアムのグローバル展開において、日本国内のみならず海外でも大きな役割を果たしていくことが期待される若手メンバーにより構成。現時点で候補者となっている新規採用予定者についても、同様の資質を備えた人材を集める予定である。

【GET】: Global Exhibition Team

【事業総括】

【事務・経理担当】

拠点形成のための事業

展示メソッド開発事業

【展示デザイン部門】

- 若手デザイナー
- 若手デザイナー



● 展示設計専門家

【保存環境部門】

- 若手サイエンティスト



● 展示保存環境専門家

ジョイントリサーチ事業

- 若手キュレーター



● 調査研究・連携部門統括

パートナーシップ事業

- 若手コーディネーター



● MOU・海外交流部門統括

デジタルコンテンツ事業

- 若手エドゥケーター
- 若手デジタルアーキビスト



● デジタル・教育普及部門統括

国内展示

【韓国展@東洋館】

- 若手キュレーター



● 陶磁器専門

【アイルランド展@本館】

- 若手キュレーター



● 日本絵画専門家

海外展示

【メキシコ展】

- 若手キュレーター



● 刀剣甲冑専門家

【インドネシア展】

- 若手キュレーター



● 染織専門家

【上海展】

- 若手キュレーター



● 漆工専門家

【中東地域展(仮)】

- 若手キュレーター



● 考古専門家

報告・相談

助言・指導

報告・相談

助言・指導

発注・委託

事業協力(ワークショップ等)

日本芸術文化振興会

各国大使館

各伝統芸能関係団体

外部業者
美術品輸送
コーディネート補助
コンテンツ製作
印刷・翻訳 ほか

共同学術研究
展示手法開発
MOU締結
デジタル発信

海外博物館

展覧会運営
保存環境調査
展示ケース制作
広報連携

- ・メキシコ国立人類学博物館
- ・インドネシア国立博物館
- ・中国・上海博物館
- ・韓国・国立中央博物館
- ・アイルランド・チェスター・ビーティー
- ・中東地域博物館(仮) ほか